

# 消防ポンプを活用した排水活動について

近年、都市化の進展に伴って、集中豪雨等による、いわゆる都市型水害が発生しやすくなっています。

浸水家屋からの排水作業には、市民消防隊等に配備している可搬式消防ポンプを活用することができます。



消防ポンプを活用した排水活動訓練

## 排水活動時の留意事項

消防ポンプは、消火のための放水活動を主たる目的として製作されているため、高水圧で流量が低い仕様となっています。

このため、流量が多く必要な排水活動には、一般的に不向きであると言われていますが、水害発生時に他に排水手段がなく、緊急的に消防ポンプを使用しなければいけない時は、安全を十分に確保した上で、次の項目に注意して行って下さい。

### 浸水区域での活動について

- 1 浸水区域で活動する際は、安全を十分に確保した上で実施すること。
- 2 大雨、暴風の状況下では、自身の安全確保を最優先すること。
- 3 避難情報（警戒レベル4等）が発令されているときは、避難を最優先すること。

### 消防ポンプの使用について

- 1 ポンプ内に泥等が混入すると故障の原因となることから、吸管には必ずストレーナー、藤かごを取り付け、泥等が混入しないようにすること。
- 2 換気の悪い空間で使用すると酸欠等の二次災害が発生する可能性があるため、室内や地下などの換気の悪い空間での活動は十分注意すること。
- 3 泥水を排水した場合には、使用後に真水で送水運転し、ポンプ内を洗浄すること。

## 過去の浸水実績図

大田区では、過去に幾度も浸水被害が発生しています。区では、過去の浸水実績図を区のHPに掲載していますので、ハザードマップの浸水被害想定と合わせてご活用ください。

過去の浸水被害を知っていただくことにより、適正な土地利用、浸水防止対策、避難等に役立てていただくようお願いします。

